

2004年6月3日

No.34

# 又市征治 国政だより

又市征治事務所

発行責任者 谷岸 孝士

富山市下新町 4-27

TEL 076-441-0800

HP: www.s-mataichi.com

## 社民党議員団（又市団長）が中国を訪問



又市幹事長を団長とする社民党訪中団は、5月23日から26日にかけて中国を訪れ、中国共産党の劉洪才中連部副部長、王家瑞部長、沈国放外交部部長補佐、及び呉官正中央政治局常務委員【写真】と相次いで会談した。

一連の会談の要旨は以下のとおり。

## 福島社民党との友好関係継続を確認

社民党は福島体制に代わったが、日本の政党では最も古くから続いている中国共産党との関係は変わることなく継続していくことを確認した。

## 未来に目を向け、世界の平和と安定・発展を

日中両国の関係については、一部の懸念材料である靖国参拝問題や台湾問題などを除けば、良好に発展している。両国は、未来に目を向け、アジアのみならず世界の平和と安定、発展に向けて協力していく責務があることを確認した。

## 北東アジア総合安全保障構想を支持

中国共産党は、社民党が提唱した「北東アジア総合安全保障構想」と、（当面、日本、韓国、朝鮮及びモンゴルを対象とする）「非核地帯設置構想」を全面的に支持する。

## 朝鮮半島非核化に向けた米朝の誠意を

朝鮮半島情勢には好転の兆しが見える。例えば金正日総書記は、先の訪中時にも、また小泉首相の訪朝時にも、「朝鮮半島の非核化が最終目標」と明言した。しかし、イラク戦争に見られるように、米国が先制攻撃をすることに懸念を持っている。北朝鮮も米国も誠意をもって問題解決に当たらねばならない。

## 6カ国協議は不可侵・核廃棄・支援の3点で

中国は、社民党が朝鮮問題を歴史的・全面的に見て、日朝友好運動や国交正常化運動を進めてきたことを高く評価している。そして物事の一こまだけを取り上げて見るべきではなく、社民党の「6カ国協議では、（米朝間の）相互不可侵、（朝鮮の）核廃棄、（朝鮮への）経済支援が3点セットで合意されるべき」との提起を支持する。

## 日中関係の発展のために社民党の力を

中国側は、日中両国の良好な関係を発展させていくためにも、社民党に力を発揮してほしいとの期待感を示した。